



8回目を迎えた今年の保養には、福島から17家族53名、杉並から2家族5名、スタッフ31人が参加しました。台風10号の影響で、当初のスケジュール案は変更の連続でしたが、地元の盆踊りに参加できなかった以外は全てやりました。室内外の遊び、一票投票で3組が一位となったカレー作り、ピザ・パン作り、流しそうめんも好評でした。震災当時（小学4年生など）を振り返りながら、福島の話をも初めて聞き考える若いボランティアスタッフ、友人を誘って参加するスタッフも増えていて、福島の人たちといっしょに作る保養も大切な時を迎えています。カンパをはじめ支えて頂いた皆様、ご協力を頂いた皆様に心から御礼申し上げます。

「福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会」事務局長 斎藤正明

参加者からの声
—アンケートから—

山梨県の自然の中で子どもたちが自由に遊び、スタッフやボランティアの方々と交流しながら、大人も子どももゆったりした心で過ごせたことが、一番良かったことです。様々な遊びの用意もありがたかったです。次回機会があれば、家族で挑戦したいです。

同じ福島の人でも、地域や年齢、経験、価値観など違いがあり、それぞれの想いを受け止める機会になりました。それと同時に、同じ子を持つ親として、福島で生きていく、福島で子育てをしていく仲間と出会えたことは心強く感じました。

子どもたちがとても生き生きとしていて、よい表情をたくさん見ることができました。今回も、富士登山、流しそうめん、ドッチボール対決、キャンプファイヤー、ピザ作りなど、普段ではできない経験をする事ができて、よかったです。

ほかの参加者や杉並の方、大学生、ボランティアの方の考えや想いを知ることができ、大変勉強になりました。福島の子どもたちのためにいまでも活動して下さる方々がいることに、感謝の思いでいっぱいです。



第8回
福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会

2019年8月12日(月)～8月16日(金) @杉並区施設「富士学園」
後援:杉並区/杉並区教育委員会/杉並区社会福祉協議会

第8回「福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会」子どもたちの笑顔とともに、無事終了!子どもたちのたくさんの笑顔とともに、お父さんやお母さんの「交流したい!」という熱意に支えられて意義深いものとなりました。ここに写真とともに報告集にまとめました。どうぞご覧ください。

「福島を忘れない!」を合言葉に始まった保養はこの8年間、皆さんの貴重なカンパによって支えられてきました。今年も無事終了することができたのは、杉並の人たちはもちろん全国の皆様のご協力があったり続けられてきたのです。心から御礼申し上げます。私がこの8年間の保養を通して感じているのは、「子どもたちが落ち着いてきた!」ということです。最初のころ福島の子どもたちがいかに過酷な状況に晒されてきたか、あらためて感じています。「お父さんやお母さんも、ずいぶんゆとりができてきた!」というのが実感です。

この取り組みはできる限り長く続けていく必要があります。この報告書の発送をもって、御礼と感謝に代えさせていただきます。

「福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会」代表 長谷川和男



協賛団体・企業（店舗）

居酒屋 丸山 / 高円寺あづま通り商店会 / 高円寺北三郵便局 / 高円寺Grain / 高円寺中通り商栄会 / 元気もりもり山森農園 / コクテイ / 小島屋 / さいとう電気サービス / 社会福祉法人 虹旗社 (杉並ゆりかご保育園・のほら保育園) / 旬菜料理 海舟 / 城南信用金庫・高円寺支店 / 杉並区職員労働組合 / 杉並総合法律事務所 / 杉並区福島県人会 / 杉並ぞうれっしや合唱団 / すぎなみピースフォーラム / せいきょう診療所 / そば処 藪そば / でいごの会 / 東京都教職員組合・杉並支部 / 東京自治労連・女性部 / 東京母親連絡会 / 特定非営利活動法人てんぐるま / 特定非営利活動法人ももの会 / 西荻法律事務所 / 日本ソーラーエネルギー教育協会・杉並支部 / ひかり保険㈱ / ぼれやあれ / 美術教育を進める会 / Meat Meat Meet / (有)山徳 / La Pomme / (株)ラッシュジャパン

「福島の子ども保養」の活動は、ますます必要とされています。今後も、この活動は継続していく所存です。引き続き皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。カンパは以下の口座にて随時お引き受けしています。



カンパは以下の口座にて随時お引き受けしています。
郵便振替口座記号番号：00170-7-655815
加入者名：「福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会」
[連絡先] 〒166-0002 杉並区高円寺北 3-12-1
斎藤正明 TEL 03-3337-2247

収入	
繰越残高	1,746,897 円
参加費（福島/杉並）	296,970 円
参加費（スタッフ）	320,000 円
寄附金	1,813,943 円
ラッシュジャパン・助成金	500,000 円
街頭募金/協賛店舗設置の募金箱ほか	111,992 円
計	4,789,802 円
支出	
宿泊費	2,341,850 円
バス代（福島-山梨 往復）	476,740 円
活動費（保養レクリエーション材料費など）	216,123 円
諸経費（スタッフ交通費・旅行保険など）	109,735 円
運営費（会議・郵送・印刷など）	77,960 円
報告会・報告集など（予定）	100,000 円
計	3,322,408 円
繰越	
次期への繰越	1,467,394 円



富士山



キャンプファイヤーの火の神は、福島からの参加者の親子。燃え上がる火を囲んで「燃えろよ! 燃えろ!」と歌を歌ったり、学生ボランティアのリードで踊ったりと、子どもも大人も大興奮。



キャンプファイヤー

花火屋さん直伝の大迫力の打ち上げ花火



パンづくり

小雨だったり、激しくふったり...でも雨にも負けずテントの中でカレー作り。焼きたてのパンは最高! 子どもも大人も大喜び。



パパカレー、ママカレーがやっぱり一番人気!



カレーコンテスト

福島からの参加者、お父さん、お母さんたちとスタッフの交流会。福島の話初めて聞いたという学生ボランティア。福島のこと...知らなかった! もっともっとたくさん話をしたいよね。



昼も夜もイベント

- 8/12 富士学園到着
オリエンテーション
キャンプファイヤー・花火大会
- 8/13 富士山お中道巡りコース
忍野八海探検コース [小さいお友達]
スイカ割り
大人たちの交流会
- 8/14 カレーづくり・パンづくり
肝試し
- 8/15 流しそうめん
さかな公園で水遊び
大人と子どものドッジボール大会
- 8/16 さよなら会

午前中は本格的な雨の降りかただったので、流しそうめん「命」のスタッフが、念入りにテントの中に装置を作ってくれていた。ところが昼頃には雨もやみ日がさしてきたのでビックリ。さすが強運揃いのスタッフ。



流しそうめん



肝だめし



工作

工作、夏休みの宿題これでOK



スイカ割り



水遊び